



島根県立出雲農林高等学校 グランドデザイン

校訓 「耕魂 育命」 生命を育て、自らの魂を耕せ
 教育目標 「自己表現できる専門的職業人の育成」

『生徒育成方針（グラデュエーション・ポリシー）』



- ① 社会に通じる人間力をもった生徒を育成する。
- ② 自ら学ぶ姿勢を持ち、志をもって社会貢献する生徒を育成する。

コミュニケーション力

学力

自己管理能力

自主性

専門性

『教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）』

総合的に「日本一の農業高校」と言える（評価される）学校を目指す。

- ① 生徒の人間関係づくりを支援する。
- ② わかる授業、できる授業を目指し授業改善を推進する。
- ③ 地域との協働による教育改革を推進する。
- ④ キャリア教育（キャリアプランニング）の充実から進路実現を図る。
- ⑤ 農業教育の更なる充実を目指す。

授業改革

- 授業評価からの改善
- ICT活用の推進
- ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業

農場改革

- スマート農業の実践
- GAP及びHACCP教育の推進
- 農業の六次産業化
- 生産と研究の均衡化

地域との協働による教育改革

地域へのイノベーション
魅力化コンソーシアム

農業及び関連産業後継者育成のための専門教育
(スペシャリストの育成)

四年制大学進学ができる進路指導
(農業教育を支える人材の育成)

基礎学力の充実 (学び直し・スパイラル学習・資格取得の推進)

『生徒募集方針（アドミッション・ポリシー）』

- ① 植物分野（作物・野菜・草花・果樹・バイオテクノロジーなど）、土木・造園分野（測量・施工・樹木など）、食品分野（分析・加工・製造など）、動物分野（乳牛・和牛・愛玩・バイオテクノロジーなど）について本校の学習内容に興味関心を持ち、継続的に学習に取り組む生徒
- ② 実験・実習、プロジェクト学習での計画・実践・まとめ・発表などを通して体験学習や地域の課題解決学習に意欲的に取り組む生徒
- ③ 将来、本校で学んだことを生かしてさらに大学等で専門的に深く学んだり、地域社会で農業をはじめとした産業の発展に貢献しようとする生徒



島根県立出雲農林高等学校の『3つの方針』

校 訓 「耕魂 育命」 生命を育て、自らの魂を耕せ
教育目標 「自己表現できる専門的職業人の育成」

1. 『生徒育成方針（グラデュエーション・ポリシー）』

- ① 社会に通じる人間力をもった生徒を育成する。
 - ・コミュニケーション力：社会的に通用する気持ちの良いあいさつができる生徒
生徒自治活動や部活動で活発に活動する生徒
学校生活や学習活動を生き生きと発表できる生徒
 - ・学 力：基礎学力が定着した生徒
専門学科の基本的な知識と技能を持った生徒
 - ・自 己 管 理 力：遅刻欠席がなく時間を遵守できる生徒
整理整頓や清掃が自らできる生徒
- ② 自ら学ぶ姿勢を持ち、志をもって社会貢献する生徒を育成する。
 - ・自 主 性：何事にも興味関心を持ち、主体的にチャレンジする生徒
 - ・専 門 性：専門学科の内容を深く探究する生徒

2. 『教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）』

- ① 生徒の人間関係づくりを支援する。
 - ア、あいさつや言葉づかい、返事、式典での校歌斉唱、情報モラル等の指導からよりよい学校文化を醸成する。
 - イ、人権教育の推進及び道徳教育、特別支援教育的視点を位置づけた授業や行事を展開する。
 - ウ、LHR活動や球技大会、体育祭、農業祭等を通じた良きクラスづくりを推進する。
 - エ、生徒会、農業クラブ、家庭クラブ、部活動などの活動から生徒の自治能力の育成を図る。
- ② わかる授業、できる授業を目指し授業改善を推進する。
 - ア、基礎・基本の確実な定着をめざし、目標や振り返りを導入した授業を徹底する。
 - イ、初任者研修、フォローアップ研修、公開授業週間を通して研究授業の充実を図る。
 - ウ、年間指導計画、シラバス等の練り直しから学年進行での到達目標を明確にする。
 - エ、特別支援教育の観点から、ユニバーサルデザインを取り入れるとともに、ICT機器や図書館の活用を有効的にすすめる。
- ③ 地域との協働による教育改革を推進する。
 - ア、コンソーシアムを通して、地域関係機関との連携を強化し地域課題の解決や出雲市に貢献できる内容を検討し実施する。
 - イ、生徒のアイデアから出雲地域にイノベーションを起こすことを目指す。
 - ウ、学校設定科目 サイエンスアプローチの充実を図り基礎学力の確実な定着を目指す。
- ④ キャリア教育（キャリアプランニング）の充実から進路実現を図る。
 - ア、体系的な指導体制によって、進路実現を図るとともに地域の担い手育成に貢献する。
 - イ、基礎学力の確実な定着と資格取得を継続的に指導し、学習成果の見える化を推進する。
 - ウ、キャリアパスポートの充実を図る。
- ⑤ 農業教育の更なる充実を目指す。
 - ア、農業クラブ活動をよりいっそう充実させ、全国大会での最優秀賞を目指す。
 - イ、GAP、HACCP（認証）教育を推進する。
 - ウ、生産農場と研究農場とのバランスを図り、技術の習得と課題解決能力の醸成を図る。

総合的に「日本一の農業高校」と言える（評価される）学校を目指す。

3. 『生徒募集方針（アドミッション・ポリシー）』

- ① 植物分野（作物・野菜・草花・果樹・バイオテクノロジーなど）、土木・造園分野（測量・施工・樹木など）、食品分野（分析・加工・製造など）、動物分野（乳牛・和牛・愛玩・バイオテクノロジーなど）について本校の学習内容に興味関心を持ち、継続的に学習に取り組む生徒
- ② 実験・実習、プロジェクト学習での計画・実践・まとめ・発表などを通して体験学習や地域の課題解決学習に意欲的に取り組む生徒
- ③ 将来、本校で学んだことを生かしてさらに大学等で専門的に深く学んだり、地域社会で農業をはじめとした産業の発展に貢献しようとする生徒